

令和4年 畑作・野菜 病害虫発生情報 第23号

作物名：キャベツ【県南地域】（8月中旬）

8月17日に実施した巡回調査の結果をお知らせします。

ヨトウガの産卵・孵化幼虫の発生が多い状況です。8月上旬以降の低気圧の通過に伴い、ハスモンヨトウの多飛来が確認されています。一部のほ場では、卵塊や孵化幼虫の発生も確認されています。

鱗翅目害虫の早期発見に努め、防除を徹底しましょう。

1. ヨトウガ（発生量 多い）

県南地域では非夏眠態成虫の発生盛期を迎えており、卵塊及び孵化幼虫が確認された発生地点率は平年より高く、10株当たり寄生数は平年より多い状況である。孵化直後の甚発生ほ場も確認されることから、卵塊や孵化幼虫の発見に努め、早期防除を徹底しましょう。

巡回調査におけるヨトウガの発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率 (卵塊+幼虫%)	寄生株率 (%)	10株当たり寄生数	
				甚	多	中	少			卵塊	幼虫
8月中旬	県南	本年	17	5.9	0	23.5	29.4	58.8	3.9	0.3	4.0
		前年	17	0	0	0	17.6	17.6	0.8	0.1	0
		平年	14	0	2.3	3.2	32.8	38.3	2.5	0.2	1.0

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数41以上、多 同21~40、中 同6~20、少 同1~5。
津軽地域の平年値は、平成27年を除く過去7年の平均値。

2. コナガ（発生量 少ない）

発生地点率は平年より低く、幼虫及び蛹の10株当たり寄生数は平年より少ない状況である。

巡回調査におけるコナガの発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率 (幼虫+蛹%)	10株当たり寄生数		
				甚	多	中	少		幼虫	蛹	計
8月中旬	県南	本年	17	0	0	0	52.9	52.9	0.5	0.3	0.8
		前年	17	0	0	0	64.7	64.7	0.7	0.7	1.4
		平年	14	0	0.6	2.8	66.3	69.7	2.2	0.4	2.6

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数101以上、多 同41~100、中 同11~40、少 同1~10。
津軽地域の平年値は、平成27年を除く過去7年の平均値。

3. モンシロチョウ（発生量 少ない）

数地点で産卵と蛹が確認されたが、幼虫の発生は確認されず、発生地点率及び10株当たり寄生数は平年より少ない状況である。

巡回調査におけるモンシロチョウの発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率 (卵+幼虫蛹%)	10株当たり寄生数	
				甚	多	中	少		卵	幼虫蛹
8月中旬	県南	本年	17	0	0	0	23.5	23.5	0.1	0.02
		前年	17	0	0	0	11.8	11.8	0.1	0
		平年	14	1.8	3.1	16.8	41.1	62.8	3.5	0.9

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数41以上、多 同21~40、中 同6~20、少 同1~5。
津軽地域の平年値は、平成27年を除く過去7年の平均値。

4. ウワバ類 (発生量 少ない)

発生地点率は平年より少なく、10株当たり寄生数(卵+幼虫)は平年より少ない状況である。

巡回調査におけるウワバ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (卵+幼虫%)	10株当たり寄生数	
				甚	多	中	少		卵	幼虫蛹
8月中旬	県南	本年	17	0	0	11.8	52.9	64.7	0.3	1.3
		前年	17	0	0	0	82.4	82.4	0.8	0.4
		平年	14	0	2.9	23.7	61.5	88.0	3.2	0.9

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数41以上、多 同21~40、中 同6~20、少 同1~5。
津軽地域の平年値は、平成27年を除く過去7年の平均値。

5. アブラムシ類 (発生量 少ない)

アブラムシ類の発生は確認されず、発生地点率及び寄生程度は平年より低い状況である。

巡回調査におけるアブラムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	寄生株率 (%)	寄生程度
				甚	多	中	少			
8月中旬	県南	本年	17	0	0	0	0	0	0	0
		前年	17	0	0	0	5.9	5.9	0.6	0.1
		平年	14	0	0	0.6	11.4	12.0	1.2	0.4

注) 発生程度：甚 寄生程度76以上、多 同51~75、中 同26~50、少 同1~25。
津軽地域の平年値は、平成27年を除く過去7年の平均値。

6. ハスモンヨトウ (卵塊・孵化幼虫の発生に注意)

8月上旬以降の低気圧の通過に伴い、ハスモンヨトウの多飛来が続いています。

一部のは場では、卵塊や孵化幼虫の発生が確認されました。今後も台風や低気圧の通過に伴い多飛来することがあるので、発生動向に注意しながら、早期発見に努め、鱗翅目害虫の早期防除を徹底しましょう。



〔写真1〕 ハスモンヨトウの卵塊
(葉裏に産みつけられた綿毛の卵塊)

〔写真2〕 孵化幼虫による食害症状
(中央；白粒群は卵塊痕)
(円内；孵化直後の幼虫)

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 担当：主幹専門員 及川 健
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
E-mail: byogaichu@pref.aomori.lg.jp

※当情報は青森県農業情報サービスネットワーク「アップル農場：<https://www.applenet.jp>」に掲載しています。